

会社概要

商号	GMOブランドセキュリティ株式会社 GMO BRAND SECURITY Inc.
所在地	〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役会長：高津 竜司 代表取締役社長：中川 光昭
役員	常務取締役：山下 寿也 取締役：今井 雄太、西山 裕之、廣惠 次郎 監査役：安田 昌史 相談役：今野 由梨
設立	2004年1月
資本金	100,000,000円
従業員数	72名（2025年12月現在）



すべてのブランドに セキュリティを

私たちは、No.1※のブランドセキュリティ企業として、
社会の「安心」「安全」に貢献します。



<https://brandsecurity.gmo/>

お問い合わせはWebサイトのフォームよりお願いいたします。

※1 ICANN調べ（2021年11月）

※2 Best Japan Brands 2022 Rankingsトップ30を基に当社実績を集計 ※3 当社調査による

企業ブランドが直面する脅威

リスクの多様化：外部からの攻撃と、
内部ガバナンスの欠如が経営基盤の崩壊を招く

顧客接点の多様化に伴い、外部からの攻撃に加え、内部管理体制の不備に起因するリスクも増大しています。GMOブランドセキュリティは、これらのリスクを「外部脅威」と「内部脅威」に分類し、包括的な対策を提案します。

脅威を放置した場合の影響

ブランドロイヤリティ低下

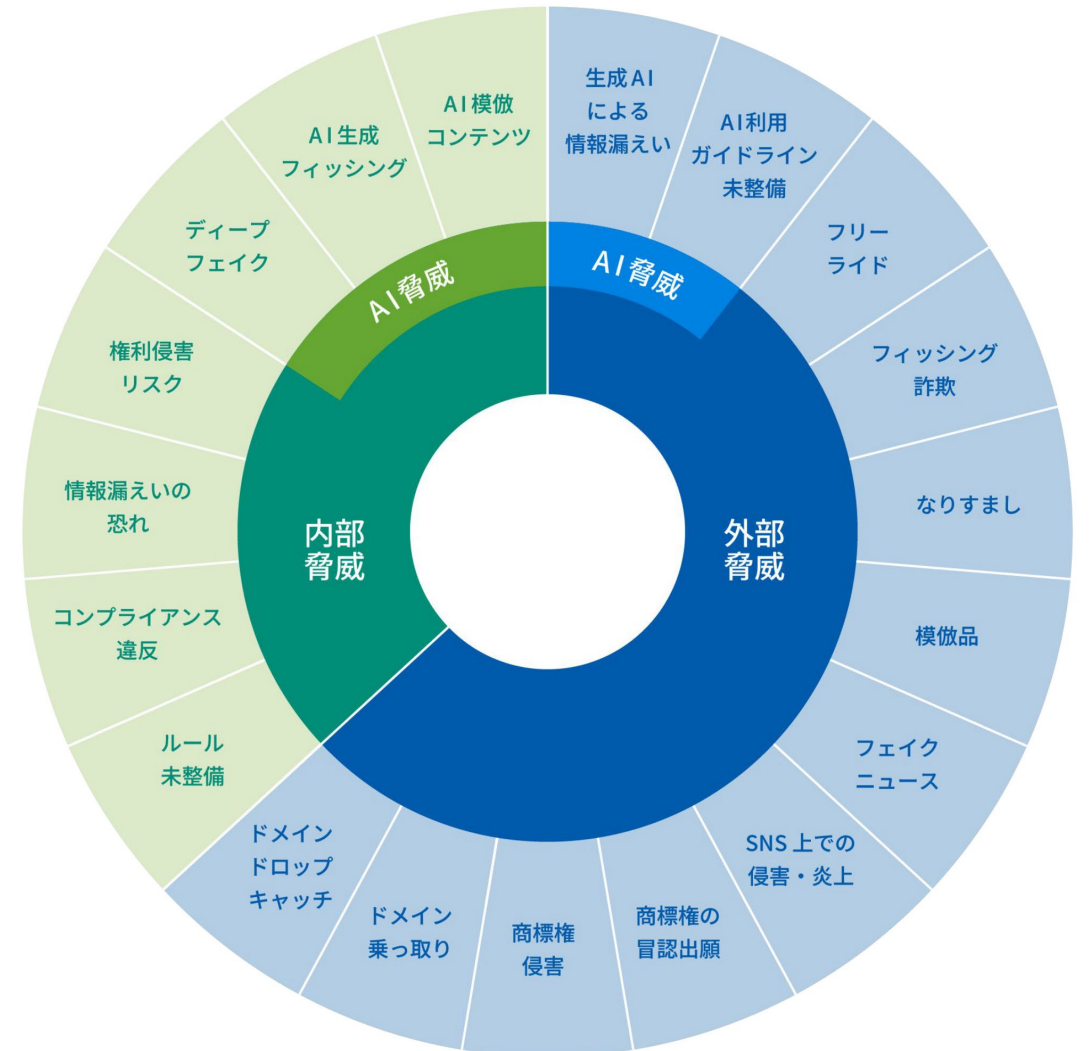
顧客離れ・信頼喪失

売上・株価への悪影響

事業存続リスク

回復コストの増大

失う前の数倍のコスト



ブランドセキュリティ概念

ブランドセキュリティ

ブランドがなりすまし（誤認や悪用、毀損）を受けることなく、正しく管理され、正しく認識され、信頼が維持される状態を実現する取り組み。

ブランド資産マネジメント

ブランドを守る

商標権・ドメインネーム・SSL証明書など、ブランドを構成するデジタル資産を一元的に把握し、最適に管理・運用する取り組み。

代表的なサービス

BRANTECT byGMO

デジタル認証・証明

ブランドを確立する

ブランドTLD、メールのロゴ表示(BIMI/VMC)、サイト認証シール（なりすまし対策シール）などを導入し、公式であることを視覚的に判断。

代表的なサービス

.貴社名 (ブランドTLD)

企業ロゴ所有証明書 (VMC)

企業ロゴ付きメール (BIMI)

GMOなりすまし対策シール

ブランドなりすまし対策

ブランド侵害を防ぐ

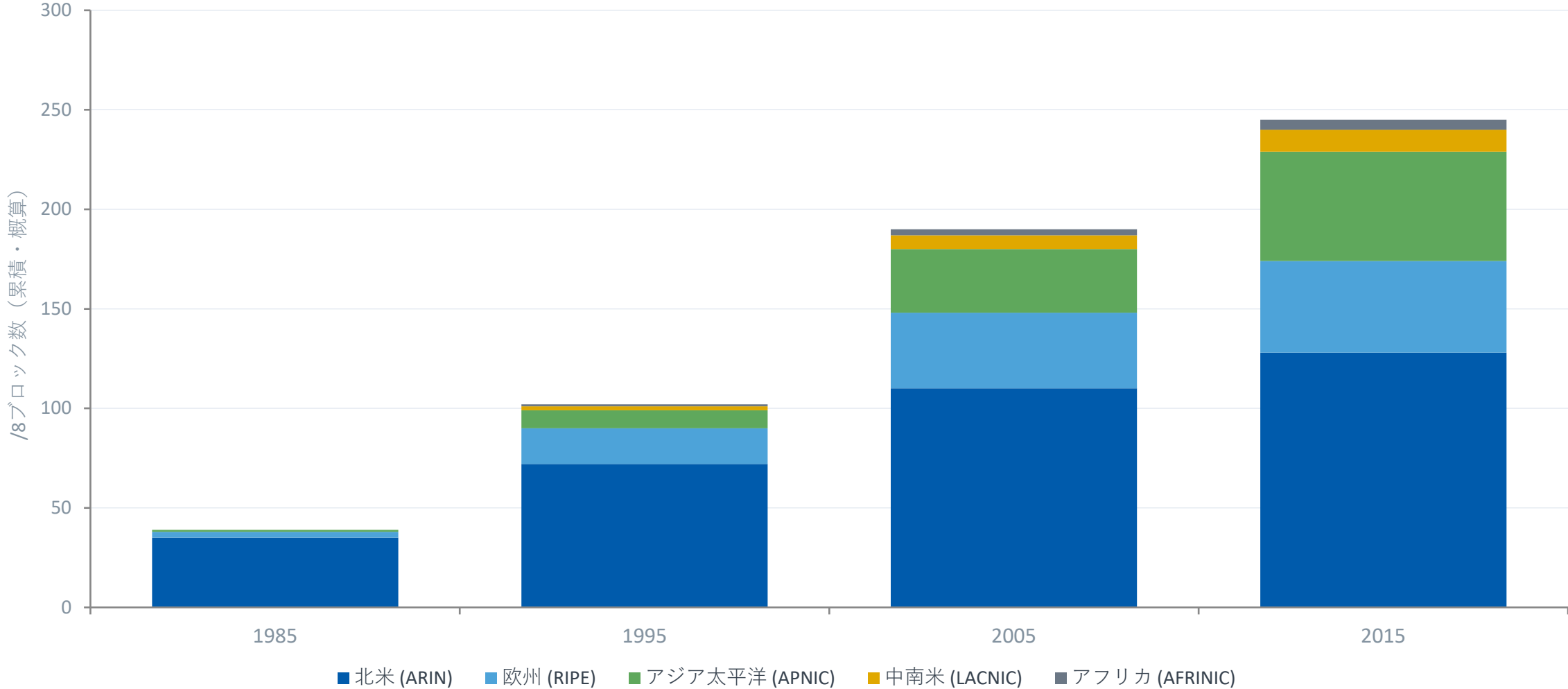
ドメインネーム、WEB・ECサイト、SNS等、ブランドのなりすましを監視、発見次第テイクダウン要請・法的措置を実行。ブランド侵害を防止・排除。

代表的なサービス

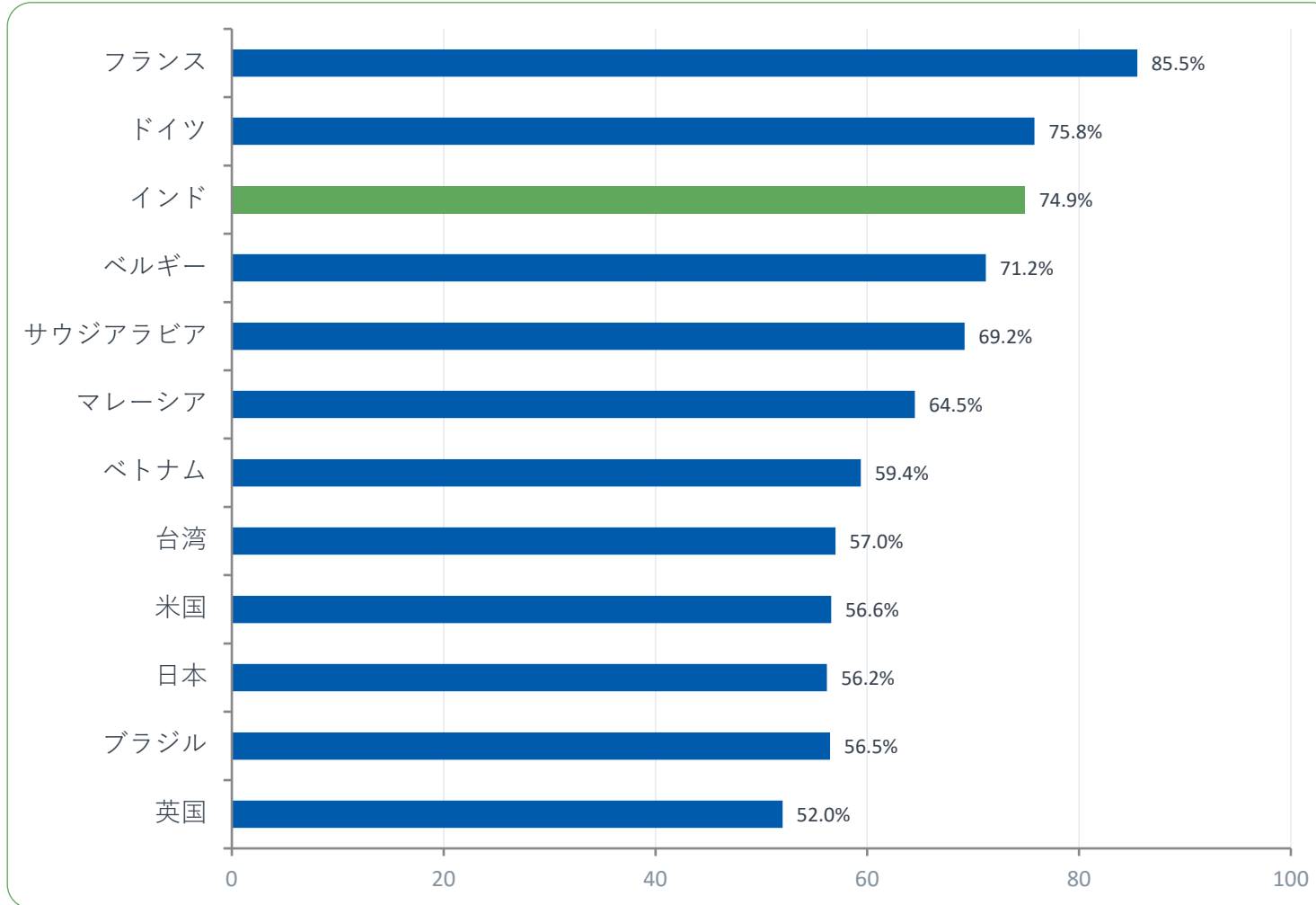
GMOブランドサーベランス

GMOエンフォース1

IPv4は当初から地域的に偏って割り当てられた



IPv6普及率は後発国が上位を占める



74.9%

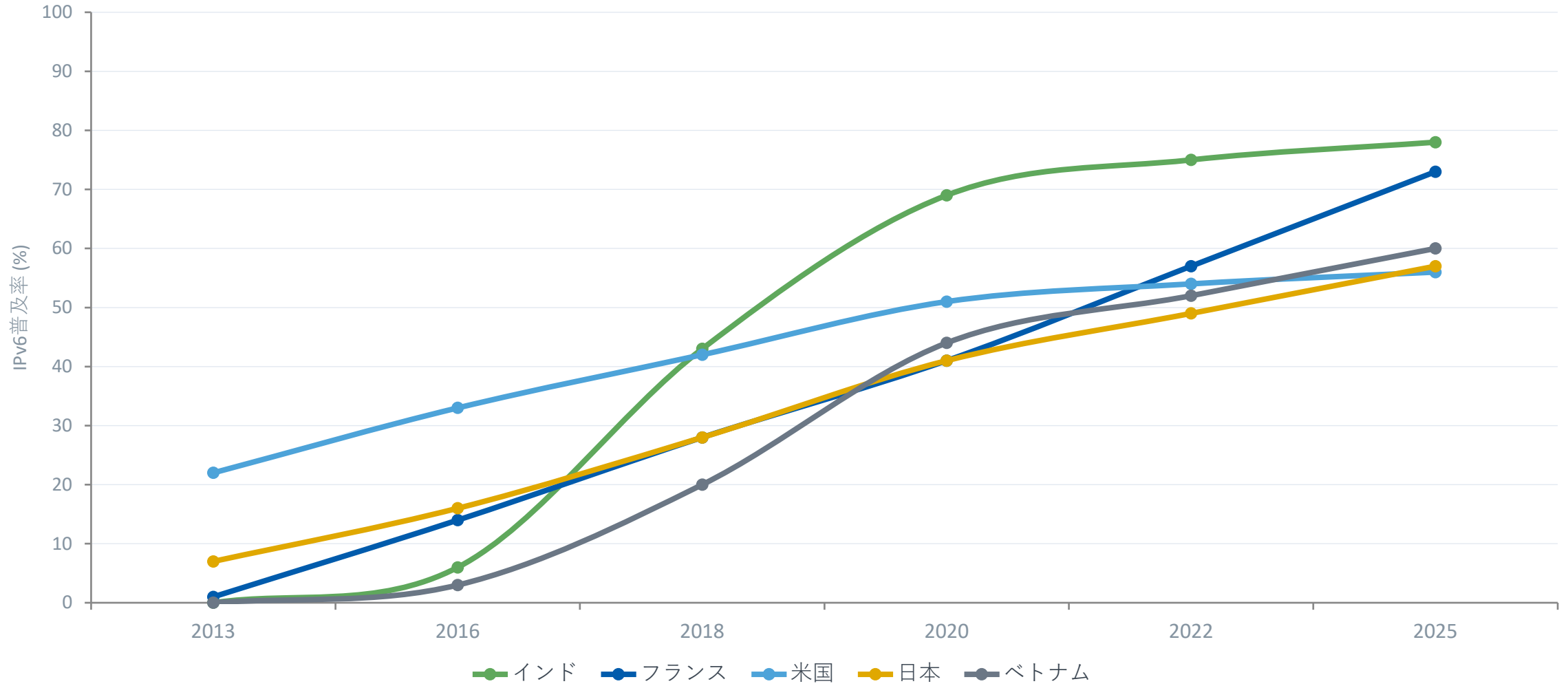
インドのIPv6普及率

IPv4の割り当てが乏しかった国が、世界トップ3に入る

パターン

- IPv4が足りない地域ほどIPv6を急いだ
- 米国は豊富なIPv4資産が逆に移行動機を弱めた

インドは4年で6%→69%へ駆け上がった



IPv6を普及させた国ほどIPv4を調達せざるを得ない

1 IPv4割り当てが少ない

初期割り当ては北米に偏在

2 IPv6を国内で積極導入

普及率は世界トップクラスへ

3 グローバル事業を展開

海外顧客・既存システムと接続

4 IPv4依存の壁にぶつかる

世界の大半はIPv4必須・両対応が前提

5 結局IPv4を調達せざるを得ない

枯渇市場で購入・リースに依存 = IPv4リース需要の構造的根拠

世帯あたりのARPU増と投資の判断の難しさ

CGNATで共有する



高額な初期投資
1つのIPを多数で共有



増強・保守が続く
加入者増で装置を拡張



品質面の制約
ポート開放・一部用途に難

IPv4を購入する



故障しない資産
装置のように壊れない



価格は落ち着き
購入しやすいフェーズに




用途の制約が少ない
各加入者にグローバルIP

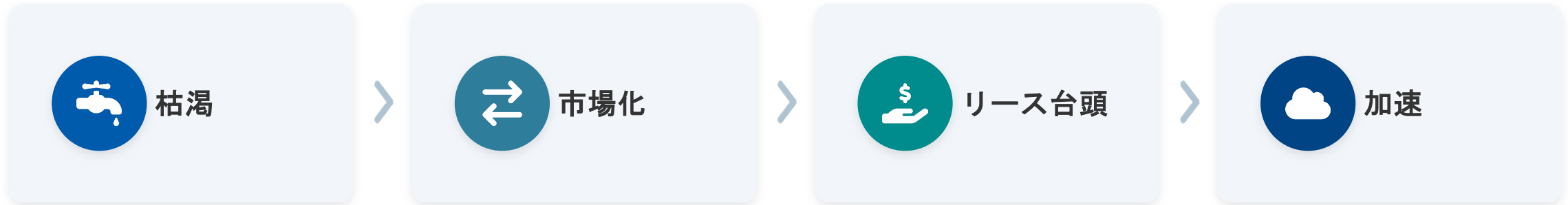
なぜ、IPv4リースが増えているのか？

背景

 IPv4は世界的に枯渇
新規に貰える時代は終わった

 クラウド・配信が拡大
グローバルIPの需要が急増

 IPv6移行は道半ば
当面IPv4は手放せない



→ 「買うには高い」需要側と「貸せば稼げる」供給側が噛み合った

ただし、弊害も生じる



レピュテーション巻き添え
前利用者の汚れたIPを引き継ぐ



登録情報のズレ
Whois・RPKIと実態が不一致に



ハイジャック／詐欺
不正な貸し出し・乗っ取りの温床



各RIRの立場
RIR毎のリースの考え方の違い